

祝辞（北条小学校卒業式）

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

期待と不安いっぱい、入学されてから早6年がたちました。先生や友達と勉強や運動をして、これまでにたくさんの経験をされ、みなさんは、身体だけでなく、こころも立派に成長されたと思います。大変、うれしく思います。

さて、新型コロナウイルス感染症により、小学校生活の半分以上は、多くの行事が中止や縮小となったり、学習スタイルも変わったり、いろいろなことが思い通りにならなかったりで、我慢する場面が多かったと思います。反面、限られた環境の中で何ができるかという経験もされてきました。忍耐力と工夫する力もついたと思います。

自分たちで考えたダンスを披露した運動会、4年ぶりの広島で修学旅行、休憩時間も一生懸命練習した学習発表会など大勢の友達と多くの経験をされたことは、今後の大きな宝物になると思います。

4月からは、中学生です。勉強や運動などレベルもどんどん上がってきます。そんな時、思うようにいかないこともあるかもしれません。そんな時は、いつまでも自分だけで悩まずに友人や先生、先輩、そして家族に相談しましょう。

私から、中学校に進学してからの言葉を送りたいと思います。

ひたすら努力しましょう。

「才能は有限、努力は無限」という言葉があります。これは、昨年、「日本人選手が勝つことは無理だろう」といわれていたマスターズ・トーナメントで、日本人選手として初めて、優勝したプロゴルファーの松山英樹選手が毎日、その言葉を見て、練習していたそうです。自分の限界を決めずに、自分の目標に向かって、地味な反復練習でも毎日、毎日、繰り返し、続けられたそうです。また、元プロ野球選手のイチロー氏は、「夢を掴むことというのは一気ににはできません。小さなことを積み重ねることでいつの日か信じられないような力を出せるようになってきます。」と当たり前の繰り返しや努力の連続が大切であることを言っています。

また、中学生になれば、「町長と語る会」があります。またその時にあってお話しできることを楽しみにしています。

保護者の皆様におかれましては、今日までいろいろなご苦勞があったかと思えます。しかしながら、このように立派に成長された姿を前に感慨もひとしおのことと心よりお喜び申し上げます。中学生となれば、これまで以上に楽しみも多い反面、心を悩ませることも多々あろうかと思いますが、しっかり向き合って、家族として・人生の良き先輩として、アドバイスをいただきますよう、よろしく申し上げます。

そして、中学への進学となれば、費用もかかります。町では、子育て支援の一環として、中学校への入学祝い金も用意させていただきます。

これまで熱心にご指導いただきました先生方、並びに関係各位に対し、敬意と感謝の意を表しますとともに、どうかこれからもあたたかく見守っていただければと思います。

おわりに、卒業生のみなさんの健やかな成長を願うとともに前途を祝し、お祝いのあいさついたします。

令和6年3月15日

北栄町長 手嶋俊樹